

2019年2月1日

保護者各位

北海道キリスト教学園
湖畔幼稚園
園長 青砥 好夫

2018年度幼稚園の保育活動に関する保護者アンケート 集約結果のお知らせ

日頃より当園の保育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、先日実施しました保護者アンケートは99家庭に配布いたしまして、84家庭から回答を頂きました。アンケートへのご協力に対して改めてお礼申し上げます。

つきましては、今後の湖畔幼稚園の保育を保護者の皆さまと共により良いものにしていきたいという願いを込め、保護者の皆さまにアンケートの集約結果をお知らせします。

4: そう思う

3: ややそう思う

2: あまりそう思わない

1: そう思わない

?: よくわからない

評 価 項 目		評 定	
		保護者	教師
1	幼稚園は、教育目標に沿って保育を行っている	3.8	4.0
2	「こはんだより」「学年だより」等の情報提供はわかりやすく伝える工夫や配慮がされている	3.6	3.6
3	お子さまは、楽しく幼稚園に通っている	3.8	4.0
4	幼稚園の行事によって、経験の幅が広がり、充実した園生活を過ごしている	3.9	4.0
5	保育室等は子ども達が楽しく遊び、様々な経験ができるよう環境が整えられている	3.6	3.4
6	幼稚園で起きた事故や怪我、感染症や急な体調の変化に対し、適切な対応がなされている	3.5	3.9
7	幼稚園の生活において、安全対策がとられている(施設、設備及び災害訓練など)	3.7	3.7
8	お子さまの気持ちや様子、子育てについて教師と話したり、相談できる(連絡ノートを含む)	3.8	4.0
9	幼稚園は子育て支援(子育てに関する相談・預かり保育・未就園児クラスなど)を積極的に行っている	3.9	4.0
10	ユネスコスクールとして、日頃から環境教育、国際理解、地域交流が行われている	3.7	4.0
総合平均		3.7	3.9

保護者の皆さまからいただいたアンケートの数値の総合平均は、「3.7」となり、9割以上という好結果となりました。特に高い評価をいただいた項目は、

No.1「幼稚園は、教育目標に沿って保育を行っている」	3.8
No.3「お子さまは、楽しく幼稚園に通っている」	3.8
No.4「幼稚園の行事によって、経験の幅が広がり、充実した園生活を過ごしている」	3.9

No.8「お子さまの気持ちや様子、子育てについて教師と話したり、相談できる(連絡ノートを含む)」 3.8

No.9「幼稚園は子育て支援(子育てに関する相談・預かり保育・未就園児クラスなど)

を積極的に行っている」

3.9

となりました。以上のような3.8を越える高い評価を多く頂いたことに教職員一同とても喜んでいました。

湖畔幼稚園は「神様の愛と恵みのもとに生かされている喜びを分かち合う」という“教育目的”の達成を目指して、キリスト教保育を行っています。今年度の年主題「イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～」、年主題聖句「愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。」(ヨハネの手紙Ⅰ4章11節)のもと、イエスさまの愛の中で安心して笑い・泣き・安らぎ・遊び・休み・生活し・関わり・祈り・生きることが、キリスト教保育の原点であると考え、幼い子どもたちが心豊かに成長できるようにと祈りつつ日々の保育を行ってきました。

各ご家庭の様々なニーズに応えた“積極的な子育て支援”、そして、日々の保育の中で子どもたちが“幼稚園が楽しい”と感じ、保護者のみなさまにおかれましても子育てに関する様々なことを“相談できる”と評価してただけたことは、私たちが目指す「神の愛と恵みに満たされた保育」を心がけることができた結果であると受け止めております。

“充実した園生活を過ごしている”に関しては、運動会、こはんまつり、クリスマス会、お楽しみ発表会等の大きな行事やその他リズムタイムや運動遊びなど、年間を通じて様々な取り組みをカリキュラムを立てて行っておりますが、その一つ一つの取り組みを行うに当たり、子ども達が自分たちで考え、工夫して取り組むことができるように子ども達との話し合いを重ね、その主体性を大切にしてきました。このことにより一人一人が伸び伸びと活動し、やり遂げる満足感を味わうことができ、充実感のある園生活につながったものと感じています。

特に認定8年目となる“ユネスコスクールとしての日々の活動”は、子どもたちや教職員のみならず各家庭、地域にもその活動が広がり、充実した取り組みとなっており、活動の3本柱(環境教育、地域交流、国際理解)のうち、環境教育では今年度のテーマである「土ってすごい」プロジェクトにおいて米作りやひざわし作りの貴重な経験をすることができました。本取り組みのために協力を頂いた地域の教育機関である北海道教育大学釧路校や釧路保育専門学校の方々と交流も深まり、ともに活動の「喜びを分かち合う」ことができました。その他にも、北海道教育大学釧路校や近隣の方にお借りした畑や園の庭でのじゃがいもやにんじんなどの野菜やご家庭から寄付頂いた花の栽培活動でも「土」からいただいている神さまの恵みへの感謝の気持ちを深めることができました。

今後も、ユネスコスクールが取り組む「持続可能な開発のための教育」を担い、“誰も置き去りにしない”“よりよい地球をつくるために”これまで継続してきている活動～地球環境を考えてのゴミ拾いや世界の貧困・窮状救援のためのキャップ・リングプル・書き損じ葉書き等の収集活動、廃品の再利用、老健たいようの利用者さんや近隣の方々との地域交流、英語あそび等における国際交流等～を大切に、自分たちができることでの取り組みを進めていきつつ、充実感のある保育を目指したいと考えています。

また、保護者の皆さまからの本アンケートと平行して行った保育者による評価については総合平均「3.9」となりました。その中で保護者のみなさまによるものと同評価となった「園の安全対策」は、地震や津波・火事の災害、防犯等の各ケースに対応した園全体での避難訓練を毎月1回以上行っており、年間を通しての意識づけを行っています。ですが、昨今の災害の多さや震災への危惧を慎重に受け止めてより強い危機管理意識と緊張感をもって訓練に臨みたいと考えています。また、「園からの情報提供や発信」をこれまでの工夫や配慮に加えて、更にできるだけ迅速に、かつ分かりやすいものを目指します。

日々の保育内における「事故や怪我」「感染症や体調の変化」への対応、「保育室等の遊びの環境」については、評価に差異があり厳しい評価となりました。教職員が密に連携し合っ、子ども達の楽しく且つ充実した園生活のための工夫をより細やかに、各ご家庭との連携においてもその信頼関係をより深く築き、子ども達の成長の為に、適切な配慮を行い、丁寧な対応を心がけて行きたいと思っております。

今年度、保護者の皆さまからは総合で「3.7」という高い評価をいただきました。この評価を大変うれしく思うと同時に、現状に甘んじることなく今回の結果を真摯に受け止めて、今後も保護者の皆さまのご期待に沿うことが出来ますよう教職員一同、より質の高い保育を目指していきたくと存じます。保護者の皆さまには引き続き、本園の保育に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。